

令和 7 年 8 月 2 9 日
芽室町立上美生小学校

学校便り 上美生

第 5 号

小学校HPのQRコードです



学校教育目標

○よく学びよく考える子ども（知）⇒自主・創造 ○なかよくし助け合う子ども（徳）⇒友愛・協力
○進んで取り組みやりぬく子ども（体）⇒主体・根気 ○いつも明るく元気な子ども（情）⇒明朗・快活

9月の行事予定

- | | |
|---------------------|----------------------------|
| 1（月）先手あいさつ運動 | 18（木）読み聞かせ 児童会 |
| 4（木）朝会（校長講話）クラブ | 23（火）秋分の日 |
| 5（金）芽室町教育研究大会 | 24（水）収穫祭 |
| 8（月）職員会議 | 25（木）読み聞かせ 児童会役員選挙 |
| 9（火）農作物収穫・片付け | 30（火）町営プール（3～6年生）
あゆみ配布 |
| 10（水）着衣水泳（上美小プール） | |
| 11（木）読み聞かせ 芸術鑑賞（午前） | |
| 12（金）防犯教室 | |
| 15（月）敬老の日 | |



「自分を磨く」ために

芽室町立上美生小学校
校長 三寺 康裕

7月22日（火）に1学期を終え、30日間の夏季休業を迎えました。その週は記録的な猛暑で、無事に過ごすために大変な思いをした方もいらっしゃるかと思います。「熱中症警戒アラート」も連日発令され、子どもたちやご家族の皆様方の無事を願わずにはいられません。幸いにも大きなけがや病気等の連絡もなく8月22日（金）に2学期の始業式を迎えました。体育館に集合した児童の表情からは、30日間の夏休みがついに終わってしまった落胆（？）よりも、いよいよ2学期が始まるという少々の期待と緊張が入り交じった気合いを察することができました。夏休み中、多くの児童は計画をもとに、有意義な夏休みを送ったことと推察しています。ご家庭における夏休み中のご指導、大変ありがとうございました。

さて、夏季休業中の学校の教職員は、2学期以降の学習や学校生活など、子どもたちの成長のためにじっくりと考えを巡らし準備を整える期間でもあります。4月におこなわれた6年生の全国学力学習状況調査、1学期末の学校風土調査等の児童へのアンケート、保護者の皆様からお寄せいただいた学校評価、もちろん教職員の自己チェックシート等、主観のみならず客観的指標を組み合わせて今後に向けた方向性や具体的な作戦を練り直します。作戦については学校全体で共通理解を図り、「全ての教職員で全ての児童を成長させる」ため、上美生中学校とも連携を深めながら、より一層努力してまいります。子どもたち一人一人の学びや育ちに答えや正解はありませんが、意欲をもって挑戦できる環境を整えること、失敗を失敗で終わらせないようにくじけずにくり返せる関わりをもつこと、活動の成果を認め次への意欲を伸ばす声かけを続けることは、今の子どもたちが求める教育であると信じ、最大限の力を入れていくことを確認しました。

この夏休み中に特別清掃が入り、体育館の床はワックスでピカピカになりました。始業式では子どもたちに「自分を磨こう」と投げかけました。およそ4か月間を過ごす2学期。12月26日（金）の終業式を子どもたちそれぞれが気持ちよく迎えるために、まずは、毎日の学習活動を丁寧に進めること。主体的に授業に参加するとともに、家庭での学習と併せて地道な反復や積み重ねを図りながら、習熟を確認していくこと。また、学校行事や日々の活動のそれぞれについて目的を理解し、はっきりとした自己目標を掲げて、その達成に向けて考えた方法を実行しながら自分自身で評価し進行管理していくことが大切となってきます。素直な気持ちで一日一日を大切に過ごしてほしいと願っています。

2学期始業式

- ・8月22日（火）2校時に体育館で行われました。まだまだ暑い日でしたがあの一時と比べれば少し涼しくなっていました。児童の明るい笑顔がたくさん見られて嬉しかったです。
- ・めいささんのピアノで校歌を歌い、太田あかりさん、さくらさん、ゆめさん、さくとさんの順番で夏休みの思い出や2学期にがんばりたいことを発表しました。
- ・まだ蒸し暑さが残る日も多い2学期のスタートです。みんな元気に過ごし実りのある2学期していきたいと思います。

夏休み作品展

- ・8月29日（金）までの期間で夏休みの作品展があり1階廊下に掲示していました。上手に公園の工作を作っていた子、万華鏡や食品サンプルを丁寧に作っていた子やうまくツリーハウスを作っていた子、またラーメンのスープ作りをノートにまとめていた子など、さまざまな作品を見させてもらいました。
- ・いつもと違うある程度長い期間かかる取り組みは、苦労と達成感が味わえとても良い経験です。2学期もさまざまなことに挑戦してもらえればと思います。

前期学校評価 7月に令和7年度前期学校評価アンケートを実施いたしました。お忙しい中、ご協力していただきありがとうございました。4段階の評定としております。上部は主に学力面、下部は主に生活面、地域関連です。一番下には記述欄についての記入です。

令和7年度 上美生小学校

7月に令和7年度前期学校評価アンケートを実施いたしました。お忙しい中、ご協力していただきありがとうございました。
4段階の評定としております。上部は主に学力面、下部は主に生活面、地域関連です。一番下には記述欄についての記入です。

学校評価集計結果（前期）

※5段階を4満点、3，2，1の評定にしています

保 護 者 (4満点→3→2→1)			評定	児 童 (1～3年生 4満点→3→2→1)			評定	児 童 (4～6年生 4満点→3→2→1)			評定
子どもたち一人一人の可能性を引き出す教育の推進	お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。		3.5	がっこうのせんせいやがっきゅうのみんなとのじゅぎょうはたのしく、ないようがよくわかる。		3.8	学校の授業は楽しい。		3.4		
	お子さんは、学校で学んだことを日常生活に活かしている。		3.4	がくしゅうのじゅんぴ・あとかたづけや せいりせいとんができている。		3.5	この学校の先生は、私がうまくできた時に認めてくれる。		3.8		
	お子さんは、自主的・計画的に家庭学習に取り組んでいる。		2.7	すすんでほんをよんでいる。		3.4	授業では、クラスの友だちとの間で話し合う活動をよく行っている。		3.8		
	【成果】 ○主に学力に関しては、3者ともおおよそ4段階で3の中盤、後半あたりに推移している。低学年の1番目は3.8と高い。また、高学年の授業の内容理解や主体的な学びに関して3.8と高い数値である。 【課題】 ●家庭学習の取り組みが2.7と相対的に低い。 【改善点】 ◎学校の学習と関連した内容あるいは反復学習等、自ら取り組む姿勢がまだ足りないと考える。家庭学習も主体的に取り組める動機付けや指導が必要と思われる。 ◎思考力・判断力・表現力を身につけるため、読書習慣もさらに定着させるよう取組を充実させていきたい。					この学校の児童生徒は、授業中何をすればいいか、はっきりと教えてもらっている。		3.8			
						この学校では、何かを決めたり選んだりするとき、児童生徒が意見を言う機会がある。		3.8			
						私の担任の先生は、私に自信をもたせてくれる。		3.4			
この学校では、他の人の気持ちを理解するための方法を学んでいる。						3.8					
					この学校で、私はうまくやれていると感じている。		3.3				
学びの機会を保障し質を高める環境の確立	お子さんは、挨拶や適切な言葉遣いを身に付けることを意識して生活している。		2.9	じぶんからへんじやあいさつをげんきよくしている。		3.4	この学校では、イライラしても、上手に気分転換したりストレス解消したりする方法を学んでいる。		3.2		
	お子さんは、身の回りのことは自分でできるように生活している。		3.2	きまりをまもり、じぶんやともだちのあんぜんにきをつけてせいかつしている。		3.6	決まりをやぶった時の結果は、だれでも同じで納得がいくものだ。		3.5		
	お子さんは、交通安全やけがの予防に努め、安全・安心を意識して生活している。		3.1	あさごはんやきゅうしょくをしっかりとべたり、すすんでうんどうしたりしている。		3.8	この学校の児童生徒は、この学校にいて安全だと感じている。		3.7		
	お子さんは、規則正しい生活を送るなど、健康や体力の向上を意識して生活している。（早寝・早起き・朝ご飯・携帯やゲームの使用ルール）		2.9	ともだちがこまっていたらたすけたり、やさしくしたりしてなかよくせいかつしている。		3.4	この学校では、男女とも、同じように大事にされている。		3.9		
	学校は、互いを理解し合い、相手を思いやって安心して学校生活が送れるように指導・助言している。		3.5				この学校の先生は、だめなことはだめとはっきり教えてくれる。		3.9		
	【成果】 ○保護者では、生活指導に関して3.5、高学年も個人個人を大事にされているという内容等で3.8、3.9と高くなっている。 【課題】 ●保護者では、子どもの挨拶、言葉遣い、規則正しい生活で2.9と相対的に低い。 【改善点】 ◎学校での基本的な生活習慣を学校以外のところでも持続できるように、家庭との連携をより深めていかなくてはと考えます。					この学校の児童生徒は、一人一人のちがいを大事にされている。		3.8			
						この学校の先生は、いじめなどをしっかりと注意してくれる。		3.7			
地域と歩む継続可能な教育の実現	学校は、「めむろ未来学」として外部人材の活用や地域の素材を活用している。		3.4	めむろやかみびせいのしぜんやちいきにふれあってべんきょうしている。		3.9					
	学校は、保護者・地域と信頼関係が結べるよう取り組んでいる。		3.7	【成果】 ○地域に関連しては4段階の3の中盤、後半あたりに推移している。 【改善点】 ◎地域連携、地域を活かした学習を通してさらに小中9年間での児童生徒の学びを具現化していかなくてはならない。							
【記述】 ○「～気持ちよく学校生活を送っていて感謝です。～」、「～安心して学校に通わせることができています～」等、感謝しますという記述がありました。（2件） ●学校でのドリル学習について、やり残しがあるので取り組み方を再度、考えてほしいというのと、家庭学習の内容についての記述がありました。（1件） ◎ドリル学習や家庭学習の取り組み方を改めて子ども達と共有し、実のある学習や主体的な学習につなげていけるように努めていきたいと思いますので、今後ともご家庭でもご理解・ご協力をお願いいたします。											